

日本の産業を多角的に考える力を育てる指導の工夫

— 「特色ある地域」と「私たちの地域」の比較による知識の概念化を通して —

社会科班 今井 啓介 (小学校教諭)

現状

- ▲知識が概念にならないので、活用できない。
- ▲社会的事象を多角的に考える力が不足。

課題

概念の習得 と 多角的に考える力の育成

習得した知識を別の視点で活用する場面を取り入れた単元構成の工夫

<手だて1> 自分の事業プランを立てるとい見通しを持つ

学習のまとめに「自分の自動車工場をつくってみよう!」という投げかけ

学習計画

- ① 「特色ある地域」を取り上げた事例学習
- ② 「特色ある地域」と「私たちの地域」の比較
- ③ 「〇〇を作る上で大切なこと」をまとめる
- ④ 「事業プラン」を作って発表する

自分の事業プラン作り?
ワクワクするな!!

どんなことが大切なのか
「特色ある地域」の事例学習をがんばらなくちゃ!

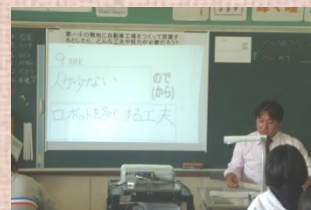
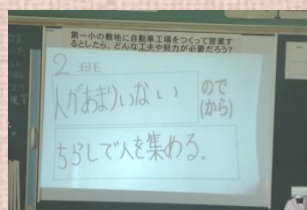
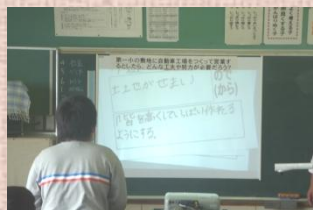


学習意欲UP!

<手だて2> 「特色ある地域」を事例的に学習し、「私たちの地域」と比較して知識を概念化する

自動車工業 について 特色ある地域「福岡県苅田町」と私たちの地域「藤岡第一小学校」の比較

	特色ある地域	私たちの地域
場所	福岡県苅田町 <工業の敷地面積>約 236 ha	藤岡第一小学校の敷地 <敷地面積>約 1.5 ha
自然条件	海が近くにある。 工場が広い。 地震や台風が少ない。	●工場がせまい。 ●海が近くはない。 ●工場。 ●環境がいい。
社会条件	海が近くにある。 人口が多い。 駅が近い。	●海が近くはない。 ●人口が少ない。 ●工場が近い。 ●家が近すぎる。 ●道がせまい。
工夫	●事故の危険を少しでも減らしたり、夜までできるに力をつけたりするための工夫。 ●危険に気づきやすくするための明るく見やすいランプなど。●製品を大切に扱う工夫。消費者を大切にします。	●工場がせまいから広い所で、工業をたてる。 ●海がないと、自分で早くおくれがない。



えっ!学校の敷地に工場を?それは無理じゃないかなあ……。でも、条件の悪いことも改善したり生かしたりできそうだ!!



作る人、使う人、周りの人……。いろいろな立場から考えないともものづくりはできないんだ!

使える知識「概念」の習得!

<手だて3> 自分の事業プランを作成し、発表して交流し合う

- グループで事業プランを作成
- 生産者・消費者・環境などの複数の立場から多角的な考えを持ち、より現実的なプランが完成
- 発表後の活発な意見交換



多角的に考える力UP!

「カ」自動車

こんな工場です!

こんな工夫や努力をしています!!

お客さまへのサービスが大切です!

成果と課題

事業プランの発表では質問が数多く出され、発表者もそれに柔軟に対応して交流が深まるなど、多角的に考える力を育てることができた。また、社会科が楽しいと感じる児童、自分の考えをしっかりと持てる児童が増えた。今後は、継続指導するために、他の単元、他の学年との系統を考えていく必要がある。